

【九月の言葉（平成二十八年）】

信心とは、私が仏を信じる心ではない。  
仏のまことの心が 私に届いたということ  
です。

浄土真宗では“信じています”という自分の心を信心とはい  
ません。自分の心で信じていますというのは、自分の都合や計ら  
いで信じているのであり、まだ疑っているのです。

人間の心は、状況次第でどう変わるかわかりません。虚仮不実  
です。

本来、信とは自分の方から信じるのではなく、確かなもの・決  
して裏切らないもの・安心できるものに遇うことにより生まれる  
ものです。子供が親を信じるではありません。親の変わらぬ愛  
情が信じさすのです。同じように、私たちが仏を信じるのではあ  
りません。仏の決して変わらないまことの心が私に至り届き、信  
じさせてくださるのです。

信心とは、阿弥陀さまから “たまわるもの”です。

※虚仮不実こけふじつ＝内心と外見が一致せず、真実でないこと。

愚かなこと。